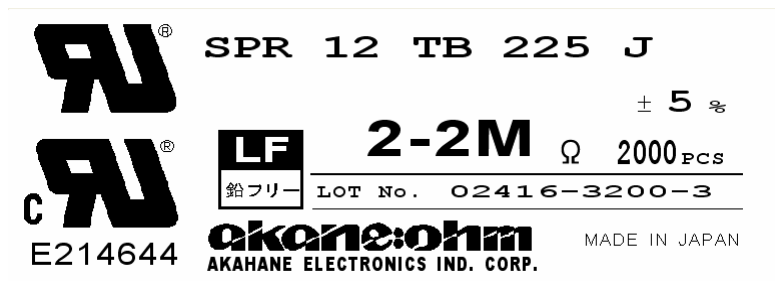


公称抵抗値 コード表記の簡単な解説

例)ラベルサンプル 特殊電力型放電用抵抗器



弊社形名の SPR 12 TB 225 J で、225の部分が 2.2M をあらわします。

乗数が 0 までは、以下のルールです。

$$\begin{aligned} \underline{225} &= 22 \times 10^5 \\ &= 2,200,000 \qquad \qquad \qquad 2.2M \quad \text{となります。} \end{aligned}$$

乗数が -1 以下になる場合、小数点の位置を 'R' で示します。

$$\begin{aligned} 2R2 & \quad 2.2 \\ R22 & \quad 0.22 \end{aligned}$$

当社ラベルでは、見やすさのため、ピリオド "." をハイフン "-" で表示します。

抵抗値コードは許容差によって、3桁と4桁のどちらかで表します。

対照表を作ると以下の通りです。

3桁

コード	抵抗値
R10	0.1
1R0	1.0
100	10
101	100
102	1.0K
103	10K
104	100K

4桁

コード	抵抗値
R562	0.562
5R62	5.62
56R2	56.2
5620	562
5621	5.62K
5622	56.2K
5623	562K